

令和7年度水道事業会計決算について

資料2

1. 収益的収入及び支出（※消費税及び地方消費税を含む）

□ 収 入

（単位：千円）

区 分	令和6年度	令和7年度	増減	増減率
第1款 水道事業収益	1,996,197	1,995,769	▲428	▲0.0%
第1項 営業収益	1,617,011	1,631,008	13,997	0.9%
第2項 営業外収益	363,292	364,633	1,341	0.4%
第3項 特別利益	15,894	128	▲15,766	▲99.2%

■ 支 出

（単位：千円）

区 分	令和6年度	令和7年度	増減	増減率
第1款 水道事業費用	1,978,658	1,974,372	▲4,286	▲0.2%
第1項 営業費用	1,906,141	1,906,246	105	0.0%
第2項 営業外費用	71,125	66,833	▲4,292	▲6.0%
第3項 特別損失	1,392	1,293	▲99	▲7.1%

2. 資本的収入及び支出（※消費税及び地方消費税を含む）

□ 収 入

（単位：千円）

区 分	令和6年度	令和7年度	増減	増減率
第1款 資本的収入	784,651	515,219	▲269,432	▲34.3%
第1項 企業債	340,000	422,700	82,700	24.3%
第2項 出資金	437,505	86,849	▲350,656	▲80.1%
第3項 負担金	7,146	5,670	▲1,476	▲20.7%

■ 支 出

（単位：千円）

区 分	令和6年度	令和7年度	増減	増減率
第1款 資本的支出	1,325,730	1,025,335	▲300,395	▲22.7%
第1項 建設改良費	478,579	564,257	85,678	17.9%
第2項 企業債償還金	447,746	458,152	10,406	2.3%
第3項 国庫補助金返還金	2,484	2,926	442	17.8%
●廃項 出資金	396,921	0	▲396,921	皆減

収入が支出に不足する額510,116千円は損益勘定留保資金等で補填

3. 経営成績（損益）（※消費税及び地方消費税を除く）

	令和6年度		令和7年度	
1 営業収益				
給水収益	1,390,290		減少※1 1,352,011	
その他の営業収益	<u>81,393</u>	1,471,683	増加※2 <u>132,750</u>	1,484,761
2 営業費用				
原水及び浄水費	848,699		850,647	
配水及び給水費	<u>129,866</u>		増加※3 <u>147,572</u>	
業務費	119,024		119,453	
総係費	<u>103,316</u>		減少※4 <u>72,890</u>	
減価償却費	565,375		596,780	
資産減耗費	26,917		3,957	
その他営業費用	<u>6,033</u>	<u>1,799,230</u>	<u>6,096</u>	<u>1,797,395</u>
営業利益（損失）		▲327,547		▲312,634
3 営業外収益				
受取利息及び配当金	814		3,382	
一般会計補助金	234,850		239,668	
負担金	2,670		2,619	
長期前受金戻入	123,641		110,456	
雑収益	<u>1,071</u>	363,046	<u>1,825</u>	357,950
4 営業外費用				
支払利息	69,497		66,305	
雑支出	<u>1,165</u>	<u>70,662</u>	<u>1,781</u>	<u>68,086</u>
経常利益（損失）		▲35,163		▲22,770
5 特別利益				
過年度損益修正益	<u>15,885</u>	15,885	減少※5 <u>117</u>	117
6 特別損失				
過年度損益修正損	<u>833</u>	<u>833</u>	<u>859</u>	<u>859</u>
当年度純利益（損失）		▲20,111		▲23,512

※1
水道料金収入は見かけ上、減少しているが、物価高騰対策に係る基本料金減免（3月分）に係る影響であり、当該収入減は「営業外収益」における「一般会計補助金」で全額補填されている。実質的な給水収益は微増。

※2
石狩市下水道使用料賦課徴収業務委託料に係る積算経費の見直しによる増加。

※3
水道メーター交換修繕のほか、配水管等修繕による増加。

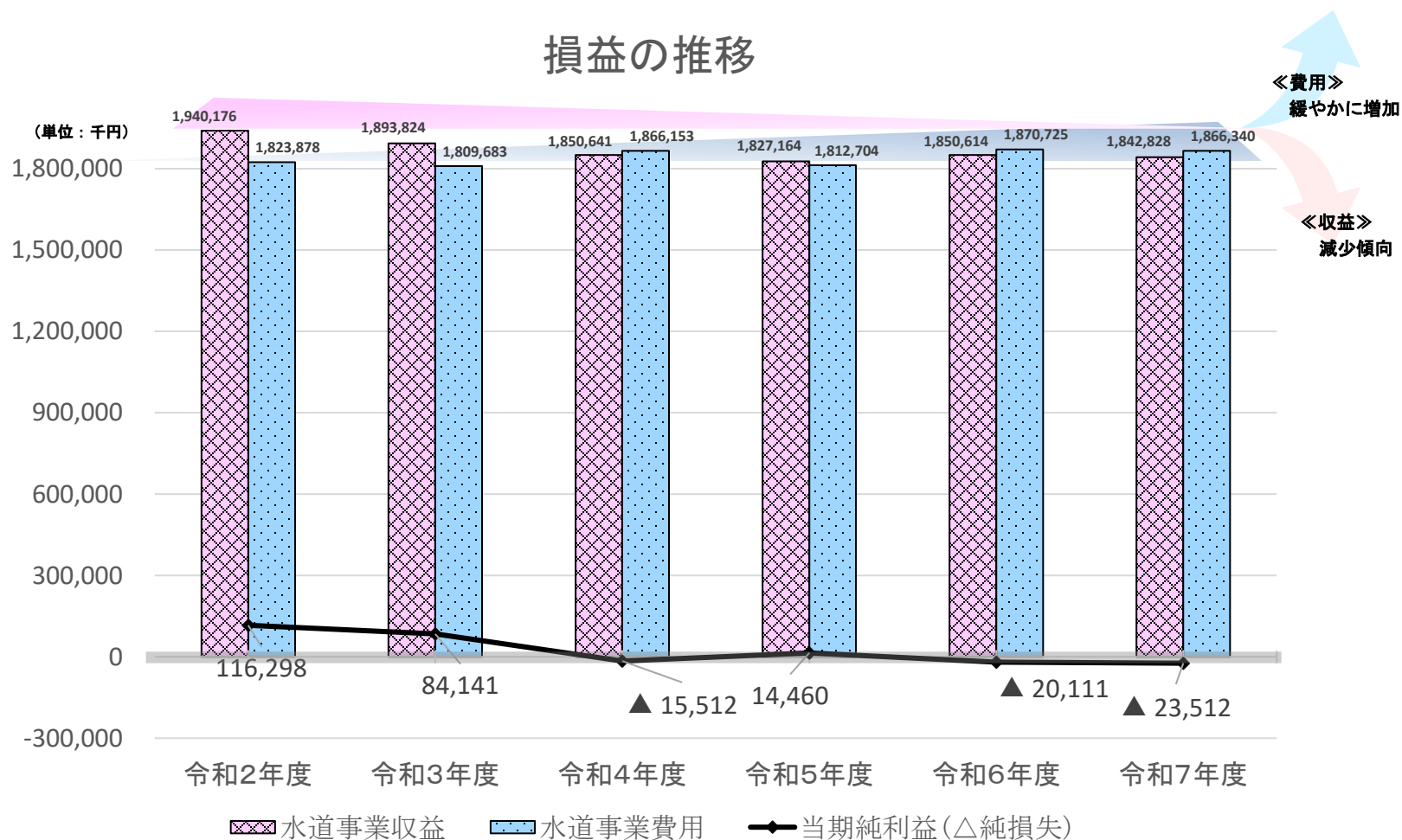
※4
石狩西部広域水道企業団に対する負担金の終了による減少。

※5
令和6年度固有事情による差異（一般会計補助金の算定方法見直しに伴う過年度分の収入の受入れ）。

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和7年度	増減	増減率
水道事業収益	1,850,614	1,842,828	▲7,786	▲0.4%
水道事業費用	1,870,725	1,866,340	▲4,385	▲0.2%
損 益	▲20,111	▲23,512	▲3,401	16.9%

損益の推移



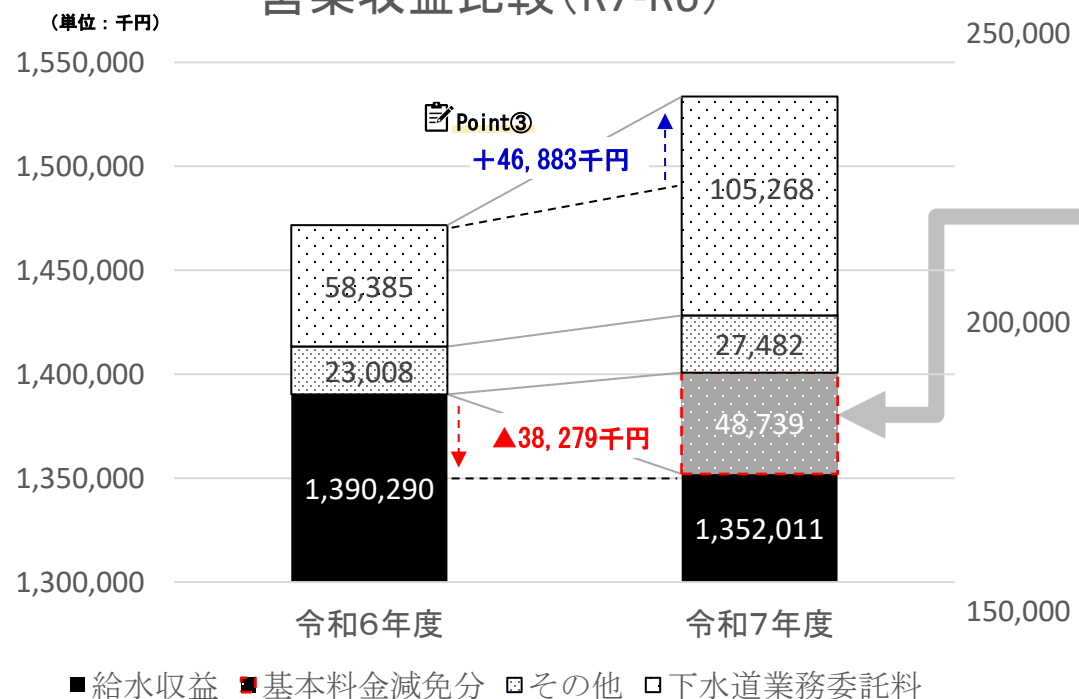
令和7年度決算におけるポイント

- 【収入】 給水収益は、実質的には微増（詳細は下記参照 ≡ ）
 石狩市下水道使用料賦課徴収業務委託料に係る積算経費の見直しにより増収

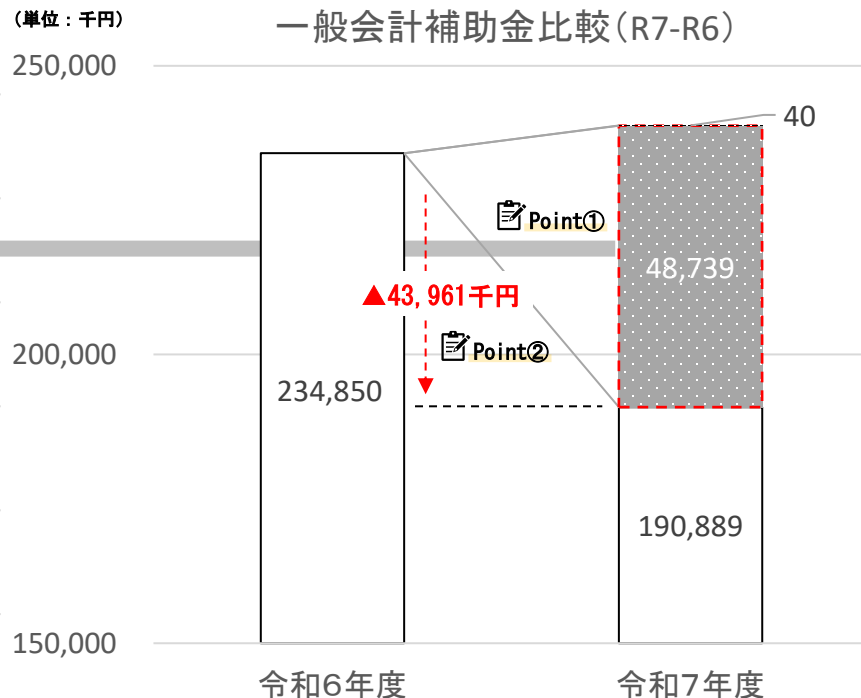
Point

- ①給水収益の年度間比較においては、3月検針分に係る基本料金減免事業の実施により、**38,279千円**の減収に見えるものの（左図）、当該事業による減収分については、一般会計補助金により全額（**48,739千円**）補填されている（矢印は補填イメージ）。
- ②一般会計補助金について、①の影響を除いた部分については、算定経費の減少により減収となった（**▲43,961千円**）。
- ③下水道業務委託料については、量水器修繕等の維持関係経費を含めて単価算出することとしたことにより増収となった（**46,883千円**）。

営業収益比較(R7-R6)

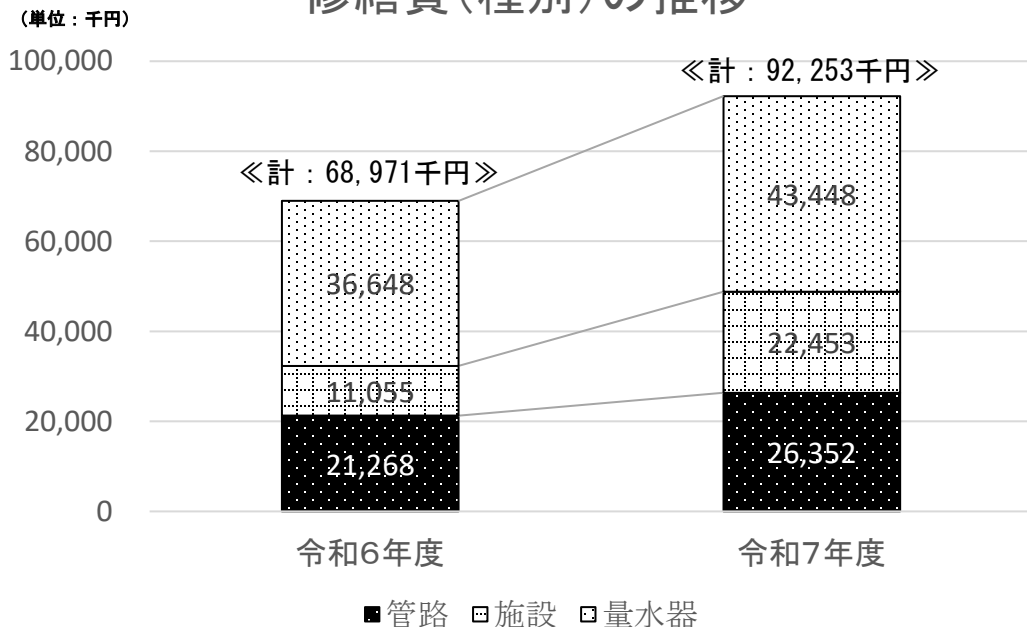


一般会計補助金比較(R7-R6)



【支出】 管路等の水道施設の老朽化により修繕費が増嵩（詳細は下記参照 ≡）

修繕費（種別）の推移



Point

水道施設の老朽化に伴う修繕需要の高まりが顕著であり、加えて、労務単価・資材費等の高騰により費用が増嵩

修繕費の推移（各3か年平均）		
H29-R1	R2-R4	R5-R7
66,361千円	64,507千円	78,628千円

今後の経営に係るポイント

- ・ 給水収益は、減収要素（人口減や企業活動の平穏化等）に比べ、増収要素が見込み難い（有収水量の推移は右図参照 ≡）
- ・ 事業運営経費は、労務単価の高騰や物価上昇により増加傾向（動力費、修繕費、委託料等）
- ・ 長期金利の上昇による将来負担の増加

有収水量の推移

